

土合小学校だより



くすのき



学校のシンボル
くすの木

平成30年度 第2号
平成30年 4月27日
さいたま市立土合小学校
〒338-0832 さいたま市桜区西堀 7-21-1
TEL 048-862-5156
fax 048-836-1580

土合小のよいところ

校長 湯沢 保紀

薫風の候、保護者、地域の皆様には新年度が始まって早一か月、お忙しい日々をお過ごしのことと拝察いたします。

学校では、4月13日に「ようこそ1年生の会」が開かれ、初めて全校児童が一堂に会し、クイズや歌を楽しみ、メッセージを発表したりしました。「土合小〇×クイズ」や学年全員のメッセージ発表では、元気で迫力のある児童の様子を見て、とても感心しました。

会が終わり、司会などを担当した6年生の児童に労いの言葉をかけ、唐突ながら『「土合小のよいところ」は何ですか?』と尋ねました。この質問、実は奥が深く、たいへん答えづらい質問です。何を「よい」ととらえるのか、どこと比べて「よい」と思うのか、自分なりに解釈をしなければ答えられません。しかしながら、その児童たちからは、素早く、たくさんの方が返ってきました。「挨拶がよくできるところ」、「歴史が長いところ」、「元気なところ」等々。きっと学校が目指す目標や目当てが先生方から明確に示され、そして、できたことを適切に褒められて育ってきたのでしょう。私は、校長として4月に赴任したばかりなので、素晴らしい児童たちから「土合小のよいところ」をたくさん教えてもらい、たいへん参考になりました。

さて、「地域と共に歩む 明るいあいさつ かがやく笑顔」を目指し、具体的な「よいところ」(成果)を、今後、以下の方策で校長なりに見つけていきたいと考えています。

①児童とたくさん会話をする

- ・朝の挨拶運動：毎朝、正門（東門）で登校する児童一人ひとりの顔・表情を見ながら、笑顔で明るく挨拶をします。2学期以降は校外へ出て、通学路で挨拶運動をします。
- ・清掃中の校内見回り：掃除の時間は、全教室を見回り、笑顔で挨拶をしながら児童に声をかけます。
- ・校長室の開放：25分休み時間などに、校長室を開放し、児童とたくさん会話をします。興味をもってもらうために、水生生物を紹介する水槽を設置します。

②地域の行事に参加し、連携を深める

- ・育成会や地域の行事に校長が積極的に参加し、子供達と触れ合うと共に、保護者・地域の方々の声をたくさん聴きたいと思えます。校内においては、原則いつでも校長室のドアを開けておき、来校された方が入りやすい環境づくりに努めます。

③地域と学校の歴史を学ぶ

- ・誇りある伝統と歴史を自ら学び、児童へも発信していきます。本校には126年の歴史を記した「学校沿革誌」があり、代々校長が新しいことを書き足しています。このほか、寺子屋の時代、土合村、浦和市時代の歴史を深く学び、児童に伝統の誇りを伝えます。



校長室の水生生物水槽

結びに、来る大型連休中、ご家庭におきましては、お子様の生活リズムを整え、朝ごはんをきちんと食べるよう、ご指導をお願いします。連休明けには、昨年度に引き続き「元気チェックカード」により生活習慣向上の取組を行います。